

**1000 人の審査請求をめざします！**

2018年10月05日 198号

生活保護制度を良くする会

# ニュース

事務局 道生連  
電話 011-736-1722  
ファックス 011-736-1688  
メール [seihoikusurukai@herb.ocn.ne.jp](mailto:seihoikusurukai@herb.ocn.ne.jp)



## 生活保護基準、10月から引き下げ。不服審査請求参加を呼びかける記者会見を行う

10月1日（月）午後4時から、北海道庁記者クラブで「生活保護制度を良くする会」が記者会見を行いました（写真・上）。

### 声明を読み上げ、2人の生活保護利用が審査請求への決意を述べました

最初に「新・人間裁判」の原告世話人代表・細川久美子さん（写真・上前列一番左）が「引き下げ開始にあたっての声明」（2面）を読み上げました。

声明は、今回の引き下げが暮らしに及ぼす影響を述べ、引き下げに何の根拠も無いこと、引き下げが国民全体の暮らしの地盤沈下につながることを告発し、「生活保護利用者の権利

である審査請求を行使し、安倍内閣と厚労省に私達の怒りを届けよう」「勇気を奮って審査請求に参加しましょう」と呼びかけています。

そのあと、白石区の鳴海真樹子さん（写真・同右）、北区の吉田弦一さん（写真・同中）の2人が決意を述べました。「2013年から3年で6.5%引き下げられた時、食事や入浴の回数を減らしたり、衣類等はリサイクル品を利用する、食料品は値引き品など節約するのが本当に大変でした」、「今度は3年で1.6%です。月に千円ちょっとでも、更に何を削るかを考えなくてはならないのは苦痛です。引き下げは止めてもらいたい。審査請求で闘います」

## 厚別区「守る会」支給日宣伝で審査請求の申し込み3人

1日は保護基準引き下げの初日でした。この日は厚別区、東区、江別が、3日に白石区、小樽市の「守る会」が支給日宣伝にとりくんでいます。厚別区は、9時半からサンピアザ水族館前の北洋銀行前で9人で行いました。後藤昭「新・人間裁判」原告団長・厚別区「守る会」副会長がハンドマイクで訴え、120枚のピラを配布。机を出して地裁向け署名を呼びかけました。

「私、1000円ちょっと減っているん

です。署名します」と言ってきた女性に、松岸洋二会長が「引き下げに不服な人は審査請求で申し立てができるんです」と説明しました（写真下）。すると「減額が3年間も続くななんて知りませんでした。私、審査請求したいです！」と。この日、3人から申し込みがありました。

